

つなげよう!  
まおう! あomorいのかわとみち



# 青森河川国道ニュース



お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38  
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577

ご意見は  
こちらまで

平成20年 9月17日(水) 第51号

## 昭和33年洪水から50年・水害への備えを忘れない!

岩木川では昭和33年に低気圧と台風の影響により7月下旬、8月中旬、9月上旬、中旬、下旬と連続5回の大洪水が発生し、甚大な被害が発生しました。7月に台風11号が過ぎた後、19日から再び停滞前線が活動しはじめ、岩木川水系の平川、浅瀬石川、十川の流域を中心に降雨に見舞われました。8月には、日本海の北東から南西に伸びていた前線が停滞し、各所とも短時間に記録的な降雨となりました。特に岩木川上流の四兵衛森(弘前市大字常盤野)方面では12日午前1時から5時までのわずか4時間で150<sup>ミ</sup>という局地的な豪雨となり、流域河川は急激に増水したため決壊や氾濫が発生しました。

また、9月5日朝方から7日にかけて低気圧の影響により豪雨に見舞われ、続く17日には台風21号が接近し再び降雨に、18日には県内各河川で氾濫が起りはじめました。特に被害の大きかったのは青森市、弘前市、八戸市ほか8市町村で、この地区には「災害救助法」が発動され、知事の要請で自衛隊が出動するほどでした。更に台風22号の接近に伴い、収穫期を控えたリンゴの落果、交通機関の大混乱など、各方面にわたり大災害となりました。

5度にわたる水害の被害額は総額100億円を超え、被害の甚大さが伺えます。当事務所では、昭和33年の洪水から50年になることから、この史実を風化させず日頃から水害へ備えようと、様々な啓蒙活動を行っています。

その一つが「祝・岩木川の日」で、当事務所ではパネル展示などでお手伝いさせていただきました。「祝・岩木川の日」(主催/「祝・岩木川の日」実行委員会)は、大正10年9月15日に岩木川改修起工式が執り行われ、洪水に苦しんできた人々が苦難から解放された喜びと、その後の流域町村の繁栄を願った記念すべき日を後世に語り継いでいくことを目的に平成11年から開催され、今年で10回目となりました。今年は連休中日の9月14日(日)、天候にも恵まれ、たくさんの方に参加していただきました。今後も、様々な機会を通じて昭和33年洪水写真パネルを中心に展示を行う予定です。



第10回「祝・岩木川の日」でのパネル展示

詳細はホームページ



をご覧ください。